

花」と比べ莢の幅が広く、粒が大きい。開花期は「大白花」と同じであるが、成熟期は若干遅い。

2. 莢数は「大白花」とほぼ同等、一莢内粒数はやや少なく、百粒重は重い。子実重は「大白花」並からやや劣る。
3. 栽培適地である網走地方では、大粒規格の5分上収量（5分の篩目上に残る子実重）は「大白花」を上回る。
4. 煮熟後の子葉および種皮の硬さは「大白花」よりやや柔らかく、甘納豆、煮豆およびコロケの加工適性は「大白花」とほぼ同等である。

栽培適地と奨励態度

網走地方のべにばないんげん栽培地帯で「大白花」の大半に置き換えて栽培する。栽培に当たっては開花盛期の窒素追肥による増収効果が「大白花」同様に高いので、同技術の適用に努める。熟莢率が低いので、適期に根切りを行なうとともに、立毛で十分な乾燥を行う。採種栽培では、他のべにばないんげんとの自然交雑を避けるため、十分な隔離栽培に努める。大粒なので、脱穀時の回転数を調節し損傷粒の発生を防ぐ。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	莢数 (/株)	一莢内 粒 数	子実重 (kg/10a)	同左比 (%)	5 分 上 率 (%)	5 分上 収 量 (kg/10a)	同左比 (%)	百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次 (年)
中央農試	中育M52号 大 白 花	7.11	10.02	24.8	1.99	274	98	41	111	271	191	4 上	1998～2001
		7.11	10.01	26.3	2.40	281	100	15	41	100	160	4 上	
北見農試	中育M52号 大 白 花	7.14	(42)	51.1	2.89	328	96	21	68	234	176	2 下	2002～2003
		7.13	(44)	53.3	3.26	340	100	8	29	100	164	3 上	

注1)成熟期における()は収穫時における熟莢率を示す。

2)5分上重率：子実重全体の中で5分の篩目上(篩目15.2mm)に残る子実重の比率(%)。

3)5分上収量：5分の篩目上に残る子実重。

参照 1)北海道農政部編，平成16年普及奨励ならびに指導参考事項，46－48（2004）。

8. ばれいしょ

(1) アーリースターチ(系統名 北海72号)1996年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第30号

(農水省)ばれいしょ農林37号

(種苗法)第7892号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、大粒で粒揃いが良いため、掘り残しが少なく、早掘りに適するでん粉原料用品種である。

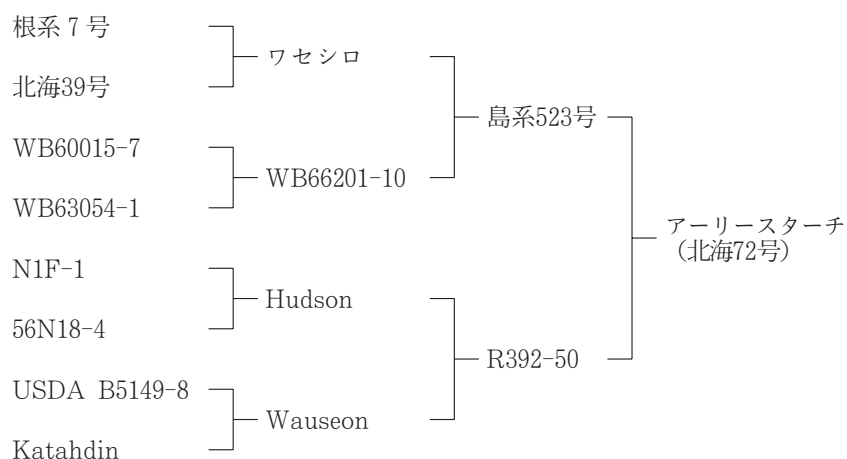
来歴 本品種は大粒でん粉原料用のジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種育成を目標として、1979年に農林水産省北海道農業試験場において、「島系523号」を母、「R392-50」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1988年より「島系550号」、1991年からは「北海72号」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性は中間型で、茎長は「コナフブキ」より短い

中、茎の太さは中、茎色は緑色で、分枝数は「コナフブキ」と同等の中である。葉色は緑色、小葉は大きく、毛茸が少なく光沢がある。花色は濃い赤紫色で、白色が両面先に分布する。花の数は多く、花粉は少なく、自然結果は認められない。

2. 塊茎は扁球形で揃いが良く、大粒で、皮色は白黄色、目の深さは中で、尻もやや深い。肉色は白色である。
3. 初期生育は中であるが、いもの早期肥大性はやや早く、特に一個重の増加が早い。枯凋期は「コナフブキ」よりやや早い中晩生で、塊茎の休眠期間はやや長い。
4. 9月上旬の早掘り収穫におけるでん粉収量は「コナフブキ」をやや下回るものの「紅丸」を上回る。普通掘りでは、上いも収量は「コナフブキ」並で、株当り上いも数は少ないが、上いも平均一個重は極めて重く、粒揃いが良い。でん粉価は「コナフブキ」よりやや低い。でん粉収量は「紅丸」、「コナフブキ」にやや劣る。
5. でん粉粒子の大きさ、灰分及びリン含量はほぼ「コナフブキ」並である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は中、そうか病には弱、粉状そ



うか病及び青枯病にはやや弱い。褐色心腐の発生は「コナフブキ」より多く「紅丸」並かやや少ない中、中心空洞は微発生。

栽培適地と奨励態度

北海道のでん粉原料用ばれいしょ生産地帯に適する。栽培上の注意は、早期収穫向けでん粉原料用なので、初期生育の促進を図り、疎植栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	でん粉 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北海道農試	アーリースターチ	5.31	(9.15)	55	8.0	146	3,968	77	733	96	19.5	124	1988～1995
	紅 丸	5.30	(9.25)	71	14.8	104	5,176	100	763	100	15.7	100	
	コ ナ フ ブ キ	5.31	(9.24)	68	9.0	130	3,839	74	789	103	21.6	138	
中央農試	アーリースターチ	5.29	9.17	47	10.4	91	3,952	79	723	98	19.4	122	1991～1993
	紅 丸	5.28	9.28	54	14.4	83	4,973	100	736	100	15.9	100	
	コ ナ フ ブ キ	5.30	9.23	62	12.8	80	4,280	86	864	117	21.3	134	
上川農試	アーリースターチ	5.31	(9.29)	55	11.1	106	3,860	82	840	102	22.8	123	1991～1993
	紅 丸	5.29	(10.2)	54	15.1	95	4,707	100	826	100	18.5	100	
	コ ナ フ ブ キ	6. 2	9.30	61	11.9	94	3,564	76	866	105	25.2	136	
十勝農試	アーリースターチ	5.28	9.17	72	10.6	96	4,409	88	838	104	20.0	118	1991～1993
	紅 丸	5.25	9.25	84	12.8	90	5,017	100	802	100	17.0	100	
	コ ナ フ ブ キ	5.30	9.25	82	10.9	92	4,273	85	926	115	22.6	133	
北見農試	アーリースターチ	6. 3	9.18	62	8.3	122	4,077	83	711	105	18.5	125	1991～1993
	紅 丸	6. 3	9.28	84	11.0	105	4,896	100	676	100	14.8	100	
	コ ナ フ ブ キ	6. 5	9.20	78	9.8	99	4,135	84	802	119	20.4	138	
根釧農試	アーリースターチ	6.14	10. 7	54	6.3	148	3,522	81	673	92	20.2	113	1991～1993
	紅 丸	6.13	10.13	67	10.8	105	4,345	100	728	100	17.8	100	
	コ ナ フ ブ キ	6.13	10. 5	61	9.1	104	3,615	83	765	105	22.2	125	

注) 試験成績は標準施肥区、枯凋期欄内 () : 未枯凋を除く平均。

参照 1) 北海道農政部編, 平成 8 年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12(1996)。

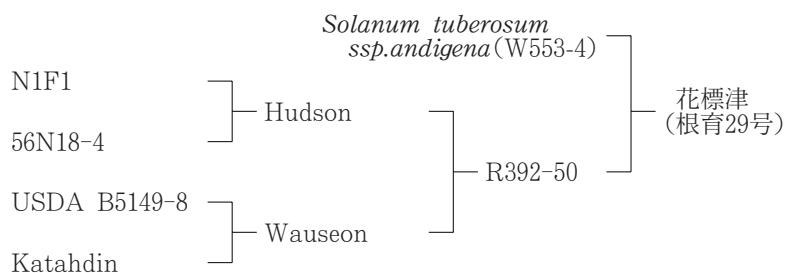
(2) 花標津(系統名 根育29号)1997年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第31号
(農水省)ばれいしょ農林38号
(種苗法)第8638号

セールスポイント

疫病圃場抵抗性が極めて強く、疫病の無防除栽培が可能なジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ生食用品種である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ及び疫病抵抗性を有する食用品種の育成を目標として、1984年に北海道立根釧農業試験場において、近縁種系統 *S.tuberosum* ssp.*andigena* 「W553-4」を母、「R392-50」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1993年より「根系81号」、1994年からは「根育29号」の系統名で各種の試験を行い、1997年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや開張型で、茎長はやや長く、茎は太く、茎色は緑色に赤紫色の斑紋があり、分枝数は中である。葉色は淡緑色、小葉の大きさは中である。花色は「男爵薯」より濃い赤紫色で、花の数は多く、花は大きい。花粉量はやや多いが、自然結果は稀である。
2. ふく枝はかなり長い、いも着生の深浅は浅い。塊茎は扁球形で、皮色は淡赤色、目に赤色が分布し、目は「男爵薯」並に深い。肉色は淡黄色である。
3. 初期生育は「男爵薯」並のやや速であるが、いもの早期肥大性はやや遅く、枯凋期は「農林1号」並の中晩生で、塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも収量は多く、中以上いも収量は中程度である。上いも及び中いも数は多く、上いも平均一個重は軽い。いもの粒揃いは中で、でん粉価は「男爵薯」並に低い。
5. 調理後の肉質は中で「男爵薯」より粉質度が低く、舌ざわりは滑らかである。調理後黒変は「男爵薯」よ

り多く、煮崩れ程度はやや少なく、食味は中である。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性は極強く、疫病無防除栽培でも収量や、でん粉価、ビタミンCなどの品質低下はほとんどみられない。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや強、Yモザイク病抵抗性は弱、青枯病抵抗性は極弱、そうか病及び粉状そうか病抵抗性は弱である。褐色心腐及び中心空洞の発生はなく、二次生長は「男爵薯」よりやや多い。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、塊茎形成及び肥大が遅いので、浴光催芽、早植えなど初期生育の確保に努める。疫病の無防除と組み合わせる他の薬剤の使用も控える場合には、土壌病害や軟腐病、菌核病の発生が多い圃場での栽培を避ける。収穫後は、赤皮で緑化いもとの識別が難しいので、遮光シートで覆うなど曝光を避ける。休眠期間が短いので、低温貯蔵に努める。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
根釧農試	花 標 津	6.14	10. 9*	73	13.4	80	4,021	120	3,146	114	15.7	106	1989, 1993~1996
	男 爵 薯	6.15	9.18	45	9.9	86	3,341	100	2,770	100	14.8	100	
	農 林 1 号	6.13	10. 9*	68	8.9	118	4,019	120	3,765	136	17.7	120	
中央農試	花 標 津	5.25	10. 2*	71	14.5	72	4,455	131	3,149	115	13.4	89	1994~1996
	男 爵 薯	5.26	8.21	39	9.0	86	3,390	100	2,731	100	15.0	100	
	農 林 1 号	5.25	9.27*	54	9.4	98	4,088	121	3,630	133	14.8	99	
上川農試	花 標 津	5.30	10. 6*	83	21.6	70	5,118	(152)	3,840	(131)	13.1	(98)	1994~1996
	男 爵 薯	5.30	9. 3	45	(10.8)	(96)	(3,373)	(100)	(2,926)	(100)	(13.4)	(100)	
	農 林 1 号	5.29	10. 6*	67	13.9	100	4,837	(143)	4,379	(150)	13.0	(97)	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で 粉 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中いも 収 量 (kg)	上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)		
十勝農試	花 標 津	5.30	9.27	91	14.2	72	4,454	124	3,065	104	14.3	97	1993～1996
	男 爵 薯	5.31	9. 6	48	9.6	84	3,578	100	2,954	100	14.8	100	
	農 林 1 号	5.29	9.30	81	9.3	104	4,312	121	3,933	133	16.0	108	
北見農試	花 標 津	6. 3	9.30	89	15.6	78	5,583	134	4,289	115	14.5	101	1994～1996
	男 爵 薯	6. 5	9. 4	57	8.8	105	4,156	100	3,741	100	14.2	100	
	農 林 1 号	6. 3	10. 1	82	8.8	119	4,790	115	4,498	120	16.3	115	
北 海 道 農 試	花 標 津	6. 4	9.30*	99	13.9	90	4,207	108	3,591	103	14.2	94	1994～1996
	男 爵 薯	6. 3	9. 6	53	12.4	95	3,918	100	3,485	100	15.1	100	
	農 林 1 号	6. 2	9.27*	79	10.7	110	4,019	103	3,771	108	16.6	110	

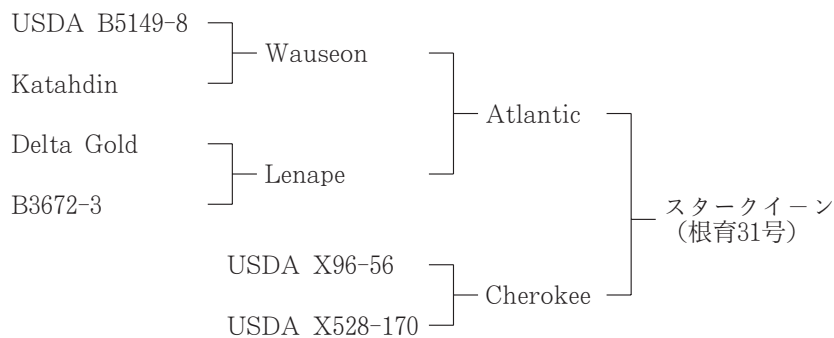
注) 試験成績は標準施肥区、枯凋期欄内*：霜による枯凋、()内は塊茎腐敗激発による参考値。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成9年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (1997).
2) 千田圭一 等, 北海道立農試集報, 74,1-17(1998).

- (3) スタークイーン(系統名 根育31号)1999年
登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第32号
(農水省)ばれいしょ農林40号
(種苗法)第10617号

セールスポイント

そうか病抵抗性が既存品種より強く、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ生食用品種である。



特性概要

- そう性は中間型で、茎長は「男爵薯」より長い中、茎色は緑色に赤紫色の斑紋があり、分枝数は中である。葉色は緑色で、小葉の大きさは中、健全株にウイルス病によるモザイク症状に似た退緑斑紋が現れることがある。花色は極淡い赤紫色で、白色が両面先に分布する。花の数、大きさは中で、花粉量は少なく、自然結果は稀である。
- 塊茎は扁球形、皮色は白黄で、表皮はやや粗い。目はやや浅く、肉色は黄白色である。
- 初期生育は中、早期肥大性はやや速いが、枯凋期は「農林1号」よりやや早い中生で、塊茎の休眠期間はやや短い。
- 上いも及び中以上のいも収量は「男爵薯」より多い中で、枯凋期に相応する収量性がある。上いも数はやや少ないが、上いも平均一個重は「男爵薯」より重い中で、いもの粒揃いはやや良い。でん粉価はやや低い。
- 調理後の肉質はやや粉質、舌ざわりは「男爵薯」並である。調理後黒変は少なく、煮崩れ程度はやや多く、食味は「男爵薯」並の中の上で、サラダやコロッケに適する。
- ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、そうか病抵抗性は「男爵薯」より明らかに強く「アトランチック」よりやや強いやや強である。そうか病の低密度汚染圃場であれば、病いも率、発病度とも「男爵薯」の半分程度に抑えることができる。Yモザイク病抵抗性、

疫病圃場抵抗性及び疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は弱、
 亀の甲病には「男爵薯」より弱い。粉状そうか病抵抗
 性はやや強い。褐色心腐及び中心空洞の発生は微で、
 二次生長は「男爵薯」より多い。

栽培適地と奨励態度

北海道一円（そうか病発生地帯）に適する。栽培上の
 注意は、そうか病の病いも率15%以下を目標とした場合、

「男爵薯」の病いも率が30%以下の圃場に栽培する。健
 全株にウイルス病によるモザイク症状に似た退緑斑紋が
 発生することがあるので、原採種栽培では抜き取りに当
 り注意する。二次生長が発生しやすいので、培土、収穫
 時期などに注意する。亀の甲病や亀の甲病類似症状が発
 生することがある。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平 均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 価 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中いも 上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
根釧農試	スタークイーン	6.14	10. 3	62	8.9	107	3,669	109	3,314	117	17.0	114	1993～1997
	男 爵 薯	6.15	9.17	45	10.4	84	3,362	100	2,827	100	14.9	100	
	農 林 1 号	6.14	10. 9*	67	8.7	120	4,008	119	3,780	134	17.7	119	
中央農試	スタークイーン	5.24	9.17	58	9.7	102	4,365	119	3,859	131	15.8	103	1995～1998
	男 爵 薯	5.24	8.23	38	10.0	84	3,654	100	2,945	100	15.4	100	
	農 林 1 号	5.24	9.20	61	10.4	104	4,774	131	4,301	146	16.4	106	
上川農試	スタークイーン	5.27	10. 1*	71	16.1	93	5,289	114	4,374	104	14.8	101	1996～1998
	男 爵 薯	5.29	9.10	46	11.6	110	4,642	100	4,226	100	14.6	100	
	農 林 1 号	5.28	10. 3*	73	12.8	127	6,056	130	5,718	135	16.3	112	
十勝農試	スタークイーン	5.29	9.21	76	9.3	105	4,335	116	3,905	127	15.8	107	1994～1998
	男 爵 薯	5.31	9. 3	54	10.1	83	3,726	100	3,076	100	14.8	100	
	農 林 1 号	5.29	9.30*	86	9.6	103	4,392	118	3,998	130	15.6	105	
北見農試	スタークイーン	6. 3	9.26*	83	9.3	133	5,533	123	5,233	128	16.2	113	1994～1998
	男 爵 薯	6. 4	9. 7	58	9.0	110	4,491	100	4,090	100	14.4	100	
	農 林 1 号	5.31	10. 1*	85	8.6	131	5,145	115	4,904	120	16.6	115	
北 海 道 農 試	スタークイーン	5.26	9.30	70	10.3	118	5,327	108	4,991	113	16.1	105	1997～1998
	男 爵 薯	5.27	9.12	46	11.7	97	4,950	100	4,432	100	15.4	100	
	農 林 1 号	5.26	10.10*	103	11.2	118	5,827	118	5,552	125	16.4	106	

注) 試験成績は標準施肥区、枯凋期欄内*：霜による枯凋。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 10－13(1999).
 2) 千田圭一 等, 北海道立農試集報, 78,1－18(2000).

(4) ノースチップ(系統名 P961)1999年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道(輸)第33号
 (種苗法)第10618号

セールスポイント

低温での長期貯蔵後のチップ品質が優れる、油加工食
 品用品種である。

来歴 本品種は低温下で長期貯蔵が可能な加工食品用
 (ポテトチップ用) 品種の育成を目標として、1988年に
 ホクレン農業協同組合連合会農業総合研究所において、
 「ホッカイコガネ」を母、「ND860-2」を父として、交
 配した組合せから選抜したもので、1996年から各種の試
 験を行い、1999年に優良品種となった。なお、本品種の

系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性は中間型で、茎長は「トヨシロ」並、茎の太
 さは中で、分枝は少ない。茎色は緑色で赤紫色の斑紋
 があり、葉色は緑色、小葉の大きさは中である。花色
 は赤紫色で白色が両面先に分布する。花の大きさ、数
 はともに中、花粉量は中で、自然結果は少程度認めら
 れる。
2. 塊茎は球形で目は浅く、目数は中で、外観は良い。
 皮色は黄褐で表皮はやや粗く、肉色は白色である。
3. 初期生育は「トヨシロ」並で、いもの肥大は「トヨ
 シロ」より遅いが、枯凋期はほぼ「トヨシロ」並の中
 早生である。



4. 上いも収量は「トヨシロ」並で、中以上いも収量はやや劣る場合が多い。上いも数が多く、上いも平均一個重は軽い、粒揃いが良く、大きいもの着生は少ない。でん粉価はほぼ「トヨシロ」並である。

5. 調理後の肉質は中、煮崩れ程度は少で、舌ざわりはやや滑らかである。調理後黒変は微で、剥皮褐変は少なく、食味は「トヨシロ」並の中である。ポテトチップカラー（アグトロ値）は収穫時から高く、低温貯蔵（6℃）中のチップカラーの低下がかなり少なく、低温下での長期貯蔵が可能である。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない。疫病圃

場抵抗性は弱で、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや強、そうか病抵抗性は弱である。PVY-Tに対しては接種当代では無病徴。褐色心腐、中心空洞及び二次生長の発生は「トヨシロ」より少ない。

栽培適地と奨励態度

北海道一円（ただし、ジャガイモシストセンチュウ汚染地域は除く）に適する。栽培上の注意は、収量を確保するために、生育の後半まで塊茎の肥大期間を確保するように努め、センチュウ汚染地域での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で 粉 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	ノースチップ	5.26	9. 6	53	13.5	70	4,192	102	3,091	88	15.7	96	1996～1998
	トヨシロ	5.29	9. 6	54	10.0	93	4,105	100	3,511	100	16.4	100	
上川農試	ノースチップ	5.28	9.20	60	15.4	101	5,624	117	5,034	114	15.8	96	1996～1998
	トヨシロ	5.29	9.10	59	11.8	113	4,815	100	4,410	100	16.5	100	
十勝農試	ノースチップ	6. 2	9.10	74	12.7	75	4,179	97	3,300	84	16.1	99	1996～1998
	トヨシロ	6. 3	9. 9	75	9.0	112	4,328	100	3,929	100	16.2	100	
北見農試	ノースチップ	6. 7	9.16	76	10.1	95	4,392	83	3,889	78	15.3	96	1996～1998
	トヨシロ	6.11	9.19	83	9.2	128	5,318	100	4,997	100	16.0	100	
根釧農試	ノースチップ	6.18	9.27	52	12.2	80	3,752	92	3,086	79	19.0	110	1996～1997
	トヨシロ	6.20	10. 1	54	7.6	145	4,100	100	3,911	100	17.2	100	
北海道農試	ノースチップ	5.28	9.18	68	11.9	110	5,654	103	5,175	98	16.3	103	1997～1998
	トヨシロ	5.27	9.15	67	9.5	135	5,495	100	5,266	100	15.9	100	

注) 試験成績は標準施肥区。

参照 1) 北海道農政部編，平成11年普及奨励ならびに指導参考事項，14～16(1999)。

(5) 十勝こがね(系統名 北海79号)2000年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第35号

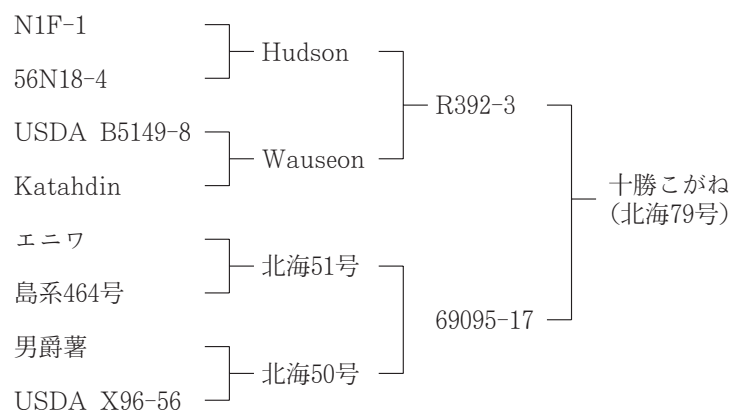
(農水省)ばれいしょ農林41号

(種苗法)第8549号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、貯蔵性が良く、調理適性に優れた生食用品種である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する早生、大粒で調理適性の優れた生食用品種の育成を目標として、1986年に農林水産省北海道農業試験場において、「R392-3」を母、「69095-17」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1992年より「島系566号」，1994年からは「北海79号」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや直立し、茎長は短く、茎の太さは中である。茎色は緑色で分枝は少ない。葉色は淡緑色、小葉の大きさは中である。花色は白色で、花の数は少なく、花粉量は多く、自然結果は中程度認められる。
2. 塊茎は楕円形、皮色は白黄色で、表皮の粗滑は中で、目は極浅く、肉色は淡黄色である。
3. 初期生育は遅く、いもの早期肥大性は「農林1号」並の中であるが、枯凋期は「男爵薯」並の早生で、塊茎の休眠期間は極長く、貯蔵性が良い。
4. 上いも収量はやや少なく、中以上いも収量はほぼ「男爵薯」並である。上いも数は少なく、上いも平均一個重は重く、いもの粒揃いは良い。でん粉価は「農林1号」並の中である。
5. 剥皮歩留りが高く、トリミング数は少ない。剥皮褐変も少ない。調理後の肉質はやや粉質で、調理後黒変はなく、煮崩れ程度は「男爵薯」並かやや少ない中で、食味は「男爵薯」より良い上である。一次加工適性に優れ高い業務向け適性を持ち、さらに休眠が長いので貯蔵後の品質劣化が少なく、長期間の供給が可能である。チップ・フライの褐変程度は微で、フライ調理適

性も高い。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性は弱く、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は極弱である。Yモザイク病抵抗性、そうか病及び粉状そうか病抵抗性は弱く、青枯病抵抗性は弱であるが「男爵薯」よりやや強い。褐色心腐及び二次生長はなく、中心空洞は2L以上の規格で「男爵薯」並に発生する。打撲耐性は「農林1号」より強く「男爵薯」並である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、休眠期間が長いので通常の種いも貯蔵では萌芽及び初期生育が遅れ易いので、1)休眠期間を短くするために、収穫後D型ハウスなどで仮貯蔵し、凍結の恐れが生じる10月中旬頃までに本貯蔵とする。2)休眠明けを早めるために、3月上旬から10℃以上20℃を上限として貯蔵温度を高くし、また早めの種いも切断を行うことが必要である。また、疫病による塊茎腐敗が発生しやすいので、予察情報などを活用し、適正な防除に努める。2L規格以上のいもでは中心空洞が発生することがあるので、茎数の確保に努め、疎植・多肥を避けることも必要である。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北海道農試	十勝こがね	5.27	8.30	49	6.8	130	3,920	88	3,735	98	15.7	105	1998～1999
	男爵薯	5.24	9. 7	46	11.2	92	4,459	100	3,805	100	15.0	100	
中央農試	十勝こがね	6. 1	8.27	40	6.1	109	2,938	88	2,689	94	16.9	114	1998～1999
	男爵薯	5.29	8.29	39	8.1	95	3,347	100	2,846	100	14.8	100	
上川農試	十勝こがね	5.31	8.27	52	8.7	116	4,482	102	4,186	106	14.9	107	1998～1999
	男爵薯	5.29	8.28	41	9.6	103	4,384	100	3,948	100	13.9	100	
十勝農試	十勝こがね	6. 1	8.27	52	6.8	112	3,349	101	3,175	115	15.6	106	1998～1999
	男爵薯	5.30	8.26	42	9.6	79	3,333	100	2,763	100	14.7	100	
北見農試	十勝こがね	6. 7	9. 7	48	8.6	115	4,419	104	4,113	110	16.7	108	1998～1999
	男爵薯	6. 2	9. 4	48	10.0	94	4,251	100	3,747	100	15.4	100	

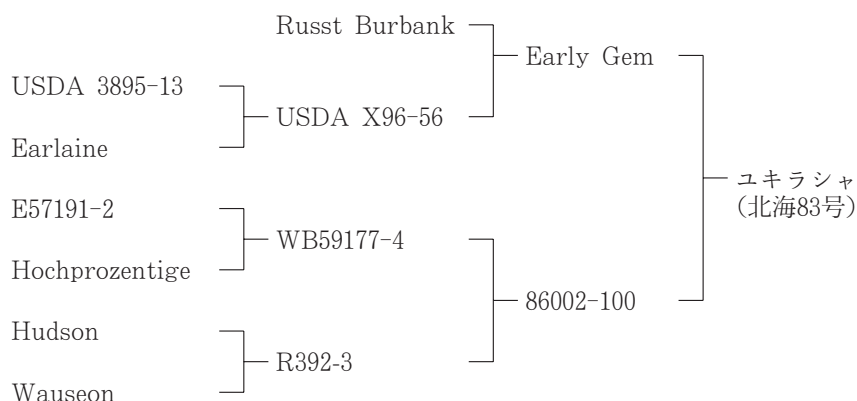
注) 試験成績は標準施肥区、種いも加温処理平均。

参照 1) 北海道農政部編、平成12年普及奨励ならびに指導参考事項、16－18(2000)。

(6) ユキラシャ(系統名 北海83号)2000年
登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第36号
(農水省)ばれいしょ農林42号
(種苗法)第11097号

セールスポイント

そうか病抵抗性が強く、貯蔵性が良く、調理適性に優れる生食用品種である。



特性概要

1. そう性は中間型で、茎長はやや短く、茎は太く、茎色は緑色で、分枝数は少ない。葉色は淡緑色、小葉は大きい。花色は白色で、花数は中、花粉量は少なく、自然結果は稀である。
2. 塊茎は楕円形、皮色は褐色で表皮は粗く、ラセット皮を有する。目はやや極浅、肉色は白色である。
3. 初期生育は遅く、いもの早期肥大性は中、枯凋期は中早生で、塊茎の休眠期間は極長である。
4. 上いも収量、中以上いも収量は「男爵薯」並の少である。上いも数は中で、上いも平均一個重は軽く、粒揃いはやや良い。でん粉価は中である。
5. 剥皮特性に優れ、剥皮褐変も少なく、カットやブレイプ等業務向け一次加工に適する。調理後の肉質はやや粉質で、煮崩れ程度は大きく、調理後黒変は微で、食味は中である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない。疫病圃場抵抗性はやや弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はや

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ及びそうか病抵抗性を有する、生食用品種の育成を目標として、1991年に農林水産省北海道農業試験場において、「Early Gem」を母、*S.tuberosum ssp. andigena*, *S.demisum*, *S.stoloniferum*, *S.commersonii*に由来する種間雑種系統「86002-100」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1996年より「島系582号」、1997年からは「北海83号」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

や強、Yモザイク病抵抗性は弱である。そうか病抵抗性は強で、「スタークイーン」より強い。粉状そうか病抵抗性は強である。褐色心腐及び中心空洞の発生は微、二次生長はない。いもの裂開は微、打撲耐性は「農林1号」並のやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円（そうか病発生地帯）に適する。栽培上の注意は、休眠期間が長いので通常の種いも貯蔵では萌芽及び初期生育が遅れ易いので、1)休眠期間を短くするために、収穫後D型ハウスなどで仮貯蔵し、凍結の恐れが生じる10月中旬頃までに本貯蔵とする。2)休眠明けを早めるために、3月上旬から10℃以上20℃を上限として貯蔵温度を高くし、また早めの種いも切断を行うことが必要である。また、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有していないので、汚染地域では栽培しないとともに、いもが裂開することがあるので、過剰な施肥など急激な肥大を促す栽培管理を行わない。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北 海 道 農 試	ユ キ ラ シ ャ	5.27	9.10	64	11.9	90	4,714	106	4,120	108	15.6	104	1998～1999
	男 爵 薯	5.24	9. 7	46	11.2	92	4,459	100	3,805	100	15.0	100	
中央農試	ユ キ ラ シ ャ	6. 1	9. 3	50	9.6	79	3,249	97	2,564	90	17.3	114	1998～1999
	男 爵 薯	5.29	8.29	39	8.1	95	3,347	100	2,846	100	14.8	100	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 備 用 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
上川農試	ユ キ ラ シ ャ	6. 2	8.30	59	10.6	85	3,924	90	3,286	83	15.6	112	1998～1999
	男 爵 薯	5.29	8.28	41	9.6	103	4,384	100	3,948	100	13.9	100	
十勝農試	ユ キ ラ シ ャ	6. 1	9. 1	59	10.2	72	3,266	98	2,537	92	16.1	110	1998～1999
	男 爵 薯	5.30	8.26	42	9.6	79	3,333	100	2,763	100	14.7	100	
北見農試	ユ キ ラ シ ャ	6. 7	9.10	60	9.1	98	3,963	93	3,415	91	17.0	110	1998～1999
	男 爵 薯	6. 2	9. 4	48	10.0	94	4,251	100	3,747	100	15.4	100	

注) 試験成績は標準施肥区、種いも加温処理平均。

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 19-21(2000).

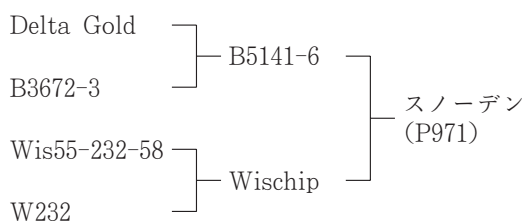
(7) スノーデン(系統名 P971)2000年

登録番号: (北海道)ばれいしょ北海道(輸)第34号

セールスポイント

9℃長期貯蔵でのポテトチップ加工適性に優れ, 収穫翌年の6月まで利用可能な油加工食品用品種である。

来歴 本品種は米国ウイスクンシン大学において, 「B5 141-6」を母, 「Wischip」を父として交配し, 以降選抜を加え, 「Snowden」の名で公開されたものをカルビーポテト株式会社が導入し, 1997年から各種の試験を行い, 2000年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は中間型で, 茎長は「トヨシロ」より長く, 茎色は緑色で赤紫色の斑紋がある。葉色は淡緑色で, 小葉の大きさはやや小さい。花色は白色で, 花粉はなく, 自然結果は認められない。
2. ふく枝は長く, いもの着生位置も深い。塊茎は球形で, 目は浅い。皮色は褐色で, 表皮は粗く, 肉色は白色である。
3. 枯凋期は「トヨシロ」より晚い中晩生で, 塊茎の休眠期間は「トヨシロ」と同様に長い。
4. 上いも収量は「トヨシロ」よりやや少なく, 中以上いも収量は同等である。上いも数はやや多く, 上いも平均一個重はやや軽い, 極大粒がほとんどないので, ポテトチップの生産工程での選別や極大粒いもの半裁処理等の省力化が可能である。でん粉価は「トヨシロ」より低い。
5. 調理後の肉質は中である。チップ・フライの褐変程度は「トヨシロ」と同じ微で, 収穫後のグルコース含量は「トヨシロ」に比べ低く推移し, 収穫時のチップカラーは「トヨシロ」とほぼ同等で, 収穫後9℃で貯

蔵し, 無加温で4～6月に加工した場合「トヨシロ」よりチップカラーは高く, ポテトチップ加工適性は「トヨシロ」より優れる。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない。疫病圃場抵抗性は「トヨシロ」と同程度の中で, 疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は強い。そうか病抵抗性は「トヨシロ」より強く「アトランチック」並の中である。Yモザイク病抵抗性は弱である。褐色心腐及び中心空洞の発生はなく, 二次生長は「トヨシロ」と同様に微程度発生する。

栽培適地と奨励態度

北海道一円(ただしジャガイモシストセンチュウ汚染地域は除く)に適する。栽培上の注意は, 収量, でん粉価の向上を図るため, 早植え, 浴光催芽などの基本技術を励行し, 完熟塊茎の安定生産に努める。ふく枝が長く, 緑化塊茎が発生し易いので, 十分な培土を行い, 塊茎着生位置が深いので, ハーベスタの掘り取り深度に注意する。多肥栽培は避け, やや疎植にする。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	ス ノ ー デ ン	5.28	9.28	68	11.8	79	4,034	107	3,256	99	13.8	85	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	5.29	9. 6	51	8.7	102	3,769	100	3,275	100	16.3	100	
上川農試	ス ノ ー デ ン	5.29	10. 3	71	12.7	92	4,674	103	4,182	100	13.6	82	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	5.30	9. 8	58	9.9	115	4,533	100	4,192	100	16.6	100	
十勝農試	ス ノ ー デ ン	5.30	9.21	81	11.8	82	4,169	96	3,422	85	14.4	87	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	6. 2	9. 7	64	8.4	118	4,355	100	4,026	100	16.4	100	
北見農試	ス ノ ー デ ン	6. 4	10. 1	89	11.4	92	4,728	88	4,059	88	16.0	95	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	6. 8	9.16	78	9.6	125	5,348	100	4,632	100	16.8	100	
根釧農試	ス ノ ー デ ン	6.17	10. 2	63	9.4	98	3,537	87	3,105	79	17.3	100	1997
	ト ヨ シ ロ	6.20	10. 3	53	6.8	155	4,058	100	3,933	100	17.3	100	
北海道農試	ス ノ ー デ ン	5.27	10. 8	88	9.5	130	5,318	99	5,120	101	14.6	91	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	5.26	9.14	68	9.6	129	5,351	100	5,083	100	16.0	100	

注) 試験成績は標準施肥区。

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-24(2000).

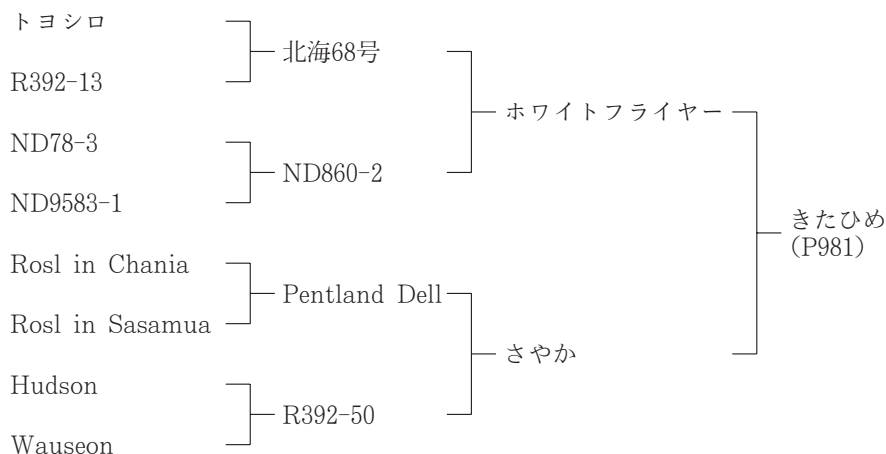
(8) きたひめ(系統名 P982)2001年

登録番号:(北海道)ばれいしょ北海道(輸)第37号
(種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち, 6℃長期低温貯蔵でのポテトチップ加工適性に優れる油加工食品用品種である。

来歴 本品種は低温下で長期貯蔵が可能な加工食品用(ポテトチップ用)品種の育成を目標として, ホクレン農業協同組合連合会農業総合研究所と農林水産省北海道農業試験場との共同研究により育成された品種で, 1991年に農林水産省北海道農業試験場において「ホワイトフライヤー」を母, 「さやか」を父として交配した組合せから, 翌年以降ホクレンにおいて選抜したもので, 1998年から各種の試験を行い, 2001年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや開張型で, 茎長は「トヨシロ」並, 茎はやや細く, 茎色は緑色で, 分枝数は中である。葉色は緑色, 小葉の大きさはやや小さい。花色は白色で花裏に紫の着色があり, 花の数は中, 花粉量は中で, 自然結果は中程度認められる。
2. 塊茎は球形で, 皮色は黄白色, 表皮はやや滑らかで,

目の数はやや多く, 深さはやや浅く, 肉色は白色である。

3. 枯凋期は「トヨシロ」より遅く「農林1号」より早い中生で, 塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも及び中いも収量は「トヨシロ」並ないしやや多い中である。上いも数, 上いも平均一個重はほぼ「トヨシロ」並の中, でん粉価は「トヨシロ」並

いしやや低い中である。

5. チップ・フライの褐変程度は微で「トヨシロ」並ないしやや優り、「農林1号」より優る。1月～5月にかけて6℃の低温貯蔵後、無加温で加工した場合のチップカラーは「トヨシロ」及び「農林1号」より優り、「ノースチップ」並に優れる。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性、Yモザイク病及びそうか病抵抗性は弱、疫

病菌による塊茎腐敗抵抗性は中である。褐色心腐、中心空洞及び二次生長の発生はいずれもほぼ「トヨシロ」並の微である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、大いもに中心空洞が発生することがあるので、多肥や疎植を避ける。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 価		試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 収 量 (kg)	同左比 (%)	(%)	(%)	
中央農試	き た ひ め	5.29	9. 8	55	9.1	105	4,249	120	3,834	123	14.8	91	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	5.30	9. 1	52	7.8	108	3,545	100	3,108	100	16.2	100	
	農 林 1 号	5.28	9.19	64	9.5	105	4,418	125	3,943	127	15.3	94	
上川農試	き た ひ め	5.28	9. 9	63	11.2	100	4,862	108	4,319	109	14.5	99	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	5.28	9. 5	59	10.6	98	4,513	100	3,975	100	14.7	100	
	農 林 1 号	5.27	9.24	80	12.7	98	5,486	122	4,907	123	14.4	98	
十勝農試	き た ひ め	5.29	9.11	62	8.8	102	3,921	97	3,625	100	15.7	99	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	5.30	9. 4	60	9.0	102	4,029	100	3,620	100	15.9	100	
	農 林 1 号	5.27	9.17	74	9.3	100	4,114	102	3,784	105	15.2	96	
北見農試	き た ひ め	5.31	9.22	61	9.3	107	4,611	95	4,215	94	16.3	96	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	6. 5	9.13	62	9.5	113	4,855	100	4,466	100	16.9	100	
	農 林 1 号	5.30	9.28	65	9.5	118	5,098	105	4,828	108	17.6	104	
北海道農試	き た ひ め	5.25	9.20	70	8.8	123	4,702	97	4,516	101	16.0	99	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	5.25	9.10	64	10.4	106	4,860	100	4,463	100	16.1	100	
	農 林 1 号	5.24	10.10	83	10.7	113	5,374	111	5,035	113	16.2	101	

注) 試験成績は標準施肥区。

参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 19-21(2001)。

(9) ナツフブキ(系統名 北育5号)2003年

登録番号:(北海道)ばれいしょ北海道第38号

(農水省)ばれいしょ農林47号

(種苗法)第 号

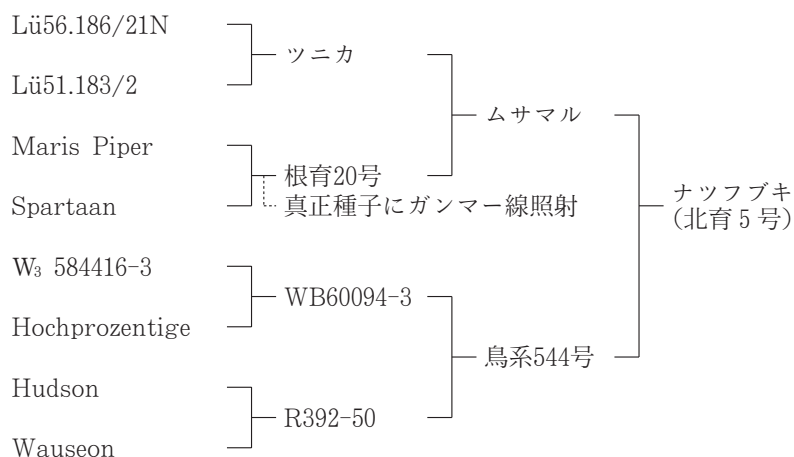
セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、早掘りに適するでん粉原料用品種である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する高でん粉価のでん粉原料用品種の育成を目標として、1992年北海道立根釧農業試験場において、「ムサマル」を母、「島系544号」を父として、交配した組合せから選抜し、1999年より「北系5号」、2000年からは「北育5号」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性はやや開張型で、茎長は「コナフブキ」並の長、茎の太さは「コナフブキ」並の中、茎色は緑色に赤紫色の斑紋があり、分枝数はやや少ない。葉色は緑色で、小葉の大きさは中である。花色は赤紫色で白色が両面先に分布する。花の数は中、花の大きさは小さく、花粉量は多く、自然結果は少程度認められる。
2. 塊茎は球形で、目の深浅は中で、皮色は黄褐色で、肉色は白い。
3. 初期生育、早期肥大性ともやや速く、枯凋期は「コナフブキ」より1週間程度早い中生で、塊茎の休眠期間は中である。
4. 上いも重は中、上いも数はやや多、上いも平均一個重は中、でん粉価は高く、でん粉重は多い。
5. でん粉粒子の大きさ、リン含量、離水率はほぼ「コナフブキ」並であり、糊化開始温度、最高粘度及び最高粘度時温度も「コナフブキ」並である。



6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性及びYモザイク病抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は中、そうか病抵抗性は弱、粉状そうか病抵抗性は中である。褐色心腐の発生は多く、中心空洞、二次生長は微発生である。

栽培適地と奨励態度

北海道のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯（主としてジャガイモシストセンチュウ発生地帯）に適する。栽培上の注意は、9月下旬以降の収穫では「コナフブキ」よりでん粉重がやや少ないので、作付計画に留意する。褐色心腐の発生が「紅丸」並に多いので、培土などの栽培管理に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	でん粉 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北見農試	ナ ツ フ ブ キ	5.31	9.27	77	9.6	107	4,689	97	1,011	97	22.6	100	1998～2002
	コ ナ フ ブ キ	5.31	10. 4	75	10.0	107	4,844	100	1,044	100	22.6	100	
中央農試	ナ ツ フ ブ キ	5.27	9.10	71	12.0	85	4,473	103	854	100	20.1	97	2000～2002
	コ ナ フ ブ キ	5.27	9.18	75	11.9	82	4,363	100	857	100	20.7	100	
上川農試	ナ ツ フ ブ キ	5.24	9.11	84	13.9	80	4,747	94	879	90	19.4	96	2000～2002
	コ ナ フ ブ キ	5.23	9.23	73	12.9	90	5,028	100	975	100	20.3	100	
十勝農試*	ナ ツ フ ブ キ	5.28	9.19	83	11.3	79	3,907	93	726	90	19.6	97	2000～2002
	コ ナ フ ブ キ	5.28	9.23	86	11.9	81	4,195	100	807	100	20.3	100	
北 農 研 センター	ナ ツ フ ブ キ	5.25	9.21	67	11.2	100	4,749	102	984	98	21.8	97	2000～2002
	コ ナ フ ブ キ	5.25	9.30	69	10.3	107	4,657	100	1,001	100	22.5	100	

注) 試験成績は標準施肥区，*：2001年を除く平均。

参照 1) 北海道農政部編，平成15年普及奨励ならびに指導参考事項，10－12(2003)。
2) 池谷 聡 等，北海道立農試集報，87，9－20(2004)。

(10) ひかる（系統名 F001)2003年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道(輸)第39号
(種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、目が浅く、大粒・多収でポテトサラダ適性に優れる生食用品種である。

来歴 本品種はポテトサラダ適性に優れた生食用品種の

育成を目標として、1993年にホクレン農業協同組合連合会農業総合研究所において、「87062-217」を母、「Maris Bard」を父として、交配した組合せから選抜したもので、2000年より「F001」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

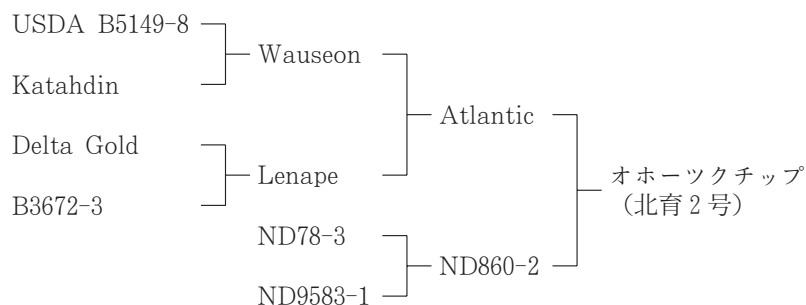
特性概要

1. そう性は直立型で、茎長は「男爵薯」よりも長い中、茎の太さは中で、茎色は緑色に赤紫色の斑紋があり、

(11) オホーツクチップ(系統名 北育2号)2004年
登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第40号
(農水省)ばれいしょ農林52号
(種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性及びそうか病に中程度の抵抗性を持つ、早生でポテトチップ加工適性に優れる油加工食品用品種である。



特性概要

1. そう性はやや開張型で、茎長はやや短く、茎の太さは「ワセシロ」並の中、茎色は緑色で、分枝数は少ない。葉色は淡緑色で、小葉の大きさは中である。花色は白色で、花の数、花の大きさは中、花粉量は中程度で、自然結果は稀である。
2. 塊茎は球形で、目は浅く、皮色は褐色で、肉色は白い。
3. 初期生育はやや速く、早期肥大性はやや遅く、枯凋期は「ワセシロ」よりやや遅い早生で、塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも重は「ワセシロ」並の中、中以上いも重はやや少なく、上いも数はやや多く、上いも平均一個重は「ワセシロ」より軽い。でん粉価は中である。
5. 早掘り及び収穫直後のチップ・フライの褐変程度は

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する早生でポテトチップ適性の優れる加工食品用品種の育成を目標として、1991年北海道立根釧農業試験場において、「アトランチック」を母、「ND860-2」を父として、交配した組合せから選抜し、1998年より「根系105号」、1999年からは「北育2号」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

無でチップカラーは「トヨシロ」、「ワセシロ」に優り、翌年1月までのチップカラーも「トヨシロ」並ないし優れる。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性及びYモザイク病抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや強く、そうか病抵抗性は中、粉状そうか病抵抗性はやや弱である。褐色心腐、中心空洞及び二次生長はいずれもは微発生である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意は、肥大性がやや遅く小粒であることから、生育促進に努める。倒伏し易い傾向にあるので、過繁茂や軟弱な地上部生育にならないよう施肥量に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北見農試	オホーツクチップ	5.28	9. 6	47	10.2	88	4,147	98	3,636	93	17.6	101	1999～2003
	ト ヨ シ ロ	6. 3	9. 9	51	9.1	110	4,245	100	3,923	100	17.5	100	
	ワ セ シ ロ	5.30	9. 3	52	8.2	116	4,292	101	4,055	106	16.7	95	
中央農試	オホーツクチップ	5.26	8.28	48	12.1	84	4,373	105	3,581	99	15.2	96	1999～2002
	ト ヨ シ ロ	5.29	9. 1	54	9.3	106	4,151	100	3,608	100	15.9	100	
	ワ セ シ ロ	5.28	8.26	54	9.7	107	4,508	109	4,050	112	14.8	94	
上川農試	オホーツクチップ	5.25	8.28	55	13.7	79	4,714	103	3,719	94	14.1	97	1999～2002
	ト ヨ シ ロ	5.26	9. 1	55	11.5	91	4,567	100	3,936	100	14.6	100	
十勝農試	オホーツクチップ	5.26	8.29	48	10.3	82	3,745	89	3,153	84	15.4	96	1999～2002
	ト ヨ シ ロ	5.29	9. 5	55	9.9	97	4,191	100	3,740	100	16.0	100	
	ワ セ シ ロ	5.29	8.27	59	8.7	106	4,097	98	3,837	103	14.6	91	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中いも 収 量 (kg)	上いも 同左比 (%)			
北 農 研 センター	オホーツクチップ ト ヨ シ ロ	5.24	9.10	47	11.6	90	4,573	95	3,979	90	16.4	97	1999～2002
		5.25	9.13	60	9.8	112	4,806	100	4,436	100	16.9	100	

注) 試験成績は標準施肥区。

参照 1) 北海道農政部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 49-51(2004)。

(12) スノーマーチ(系統名 北育7号)2004年

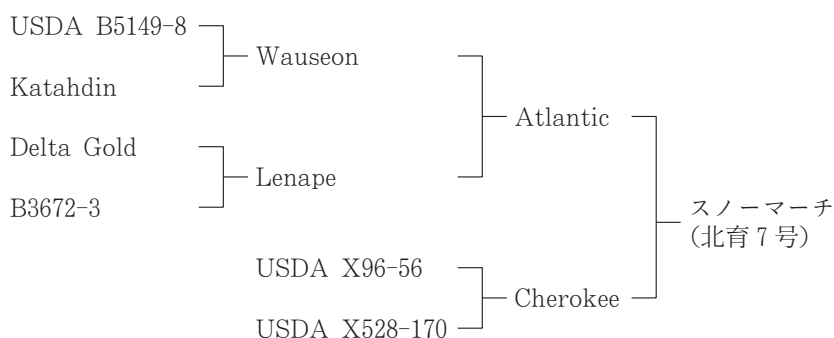
登録番号: (北海道)ばれいしょ北海道第41号

(農水省)ばれいしょ農林51号

(種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性及びそうか病に強い抵抗性を持つ、調理特性の優れる生食用品種である。



特性概要

1. そう性は中間型で、茎長はやや短く、茎の太さは中、茎色は緑色で、分枝数は中である。葉色は緑色で、小葉の大きさは大きく、花色は白色で、花の数はやや少なく、花の大きさは中、花粉量は中程度で、自然結果は少程度認められる。
2. 塊茎は倒卵形で、目は浅く、皮色は白黄色で、肉色は白い。
3. 初期生育及び早期肥大性はやや遅く、枯凋期は「男爵薯」より晚い中生で、塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも重及び中以上いも重は「男爵薯」より多一中、上いも数は「男爵薯」並の中で、上いも平均一個重は「男爵薯」より重一中である。でん粉価は「男爵薯」より高いやや低である。
5. 剥皮褐変がなく、調理後の肉質はやや粉質で、煮崩

来歴 本品種はそうか病抵抗性とジャガイモシストセンチュウ抵抗性を併せ持つ生食用品種の育成を目標として、1993年北海道立根釧農業試験場において、「アトランチック」を母、「Cherokee」を父として、交配した組合せから選抜し、2000年より「北系7号」、2001年からは「北育7号」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

- れ程度は少なく、調理後黒変は微で、食味は中上である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性及びYモザイク病抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は中、そうか病抵抗性は強、粉状そうか病抵抗性はやや強である。褐色心腐及び二次生長はいずれも微発生で、中心空洞は「男爵薯」並の少発生である。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯（主としてそうか病発生地帯）に適する。栽培上の注意は、褐色心腐及び中心空洞の発生することがあるので、多肥や疎植を避け、培土に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 備 率 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北見農試	スノーマーチ	5.28	9.15	43	9.0	98	4,085	122	3,690	125	17.6	105	2001～2003
	男 爵 薯	5.27	8.26	32	8.1	87	3,361	100	2,952	100	16.7	100	
	スタークイーン	5.27	9.23	50	8.1	116	4,357	130	4,095	140	18.0	108	
中央農試	スノーマーチ	5.26	9. 9	53	16.0	75	5,373	117	4,199	115	15.5	103	2001～2003
	男 爵 薯	5.24	8.17	39	13.6	76	4,577	100	3,650	100	15.1	100	
	スタークイーン	5.23	9.17	63	14.2	87	5,486	120	4,513	124	15.3	101	
上川農試	スノーマーチ	5.24	9. 6	50	13.7	91	5,476	113	4,679	113	15.4	105	2001～2003
	男 爵 薯	5.23	8.24	38	11.8	94	4,828	100	4,137	100	14.6	100	
	スタークイーン	5.22	9.11	56	12.2	108	5,699	118	5,070	123	15.3	105	
十勝農試	スノーマーチ	5.27	9.15	54	10.7	95	4,498	114	4,045	117	16.4	110	2001～2003
	男 爵 薯	5.26	8.26	39	10.4	85	3,929	100	3,456	100	14.9	100	
	スタークイーン	5.27	9.21	63	10.1	108	4,784	121	4,394	127	16.8	113	
北 農 研 センター	スノーマーチ	5.27	9.23	47	8.6	117	4,392	112	4,140	120	17.2	106	2001～2003
	男 爵 薯	5.24	9. 1	35	9.5	95	3,910	100	3,454	100	16.3	100	
	スタークイーン	5.24	9.23	54	10.8	104	4,925	125	4,467	129	17.8	109	

注) 試験成績は標準施肥区。

参照 1) 北海道農政部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 1- 3 (2004).

(13) キタムラサキ(系統名 北海88号)2004年

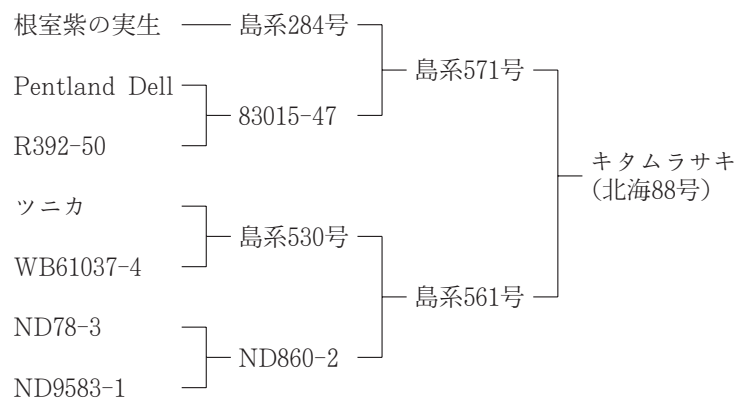
登録番号: (北海道)ばれいしょ北海道第42号

(農水省)ばれいしょ農林50号

(種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち, 肉色が紫色でアントシアニン色素を含有する生食用品種である。



来歴 本品種は肉色が紫でジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち, チップ適性にも優れた生食用品種の育成を目標として, 1991年農林水産省北海道農業試験場において, 「島系571号」を母, 「島系561号」を父として, 交配した組合せから選抜したもので, 1995年より「島系578号」, 2000年からは「北海88号」の系統名で各種の試験を行い, 2004年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性はやや直立型で, 茎長はやや長く, 茎は太く, 茎色は紫色に緑色の斑紋があり, 分枝数は少ない。葉色は濃緑色で, 小葉の大きさは小さい。花色は白色で, 花の数, 花の大きさは中, 花粉量は中程度で, 自然結果は稀である。
2. 塊茎は倒卵形で, 目は浅く, 皮色は紫色で, 肉色は

紫色に白色の斑紋がある。

3. 初期生育及び早期肥大性は中, 枯凋期は「男爵薯」より遅い中晩生で, 塊茎の休眠期間は長い。
4. 上いも重及び中以上いも重は「男爵薯」より多い中, 上いも数は「男爵薯」より少ない少で, 上いも平均一個重は「男爵薯」より重い大である。でん粉価は「男爵薯」より高い中である。

5. 調理後の肉色は紫で肉質はやや粘質，煮崩れ程度は少なく，食味は中である。チップ・フライの褐変程度は「男爵薯」並の中である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し，疫病圃場抵抗性は中，Yモザイク病抵抗性は弱，疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや強，そうか病抵抗性は弱，粉状そうか病抵抗性はやや強である。褐色心腐及び中心空洞の発生はなく，二次生長は「男爵薯」より多い少発生である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は，紫皮のため緑化等の見分けが難しいので，十分な培土と培土を崩さない様な管理作業を行い，緑化させないように注意する。休眠期間が比較的長く，頂芽優勢が強いため，頂芽の損傷により，萌芽の不揃いを生じやすい。浴光育芽時には芽を伸ばしすぎないようにし，種いもの切断には注意する。生育後半に葉が巻く症状が出ることもあるが，生理的なものである。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で 粉 圃 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中いも 以上も 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北 農 研 センター	キタムラサキ 男 爵 薯	5.28	9.29	77	8.5	128	4,799	125	4,549	139	17.3	108	1999～2003
		5.25	9. 6	37	10.1	89	3,846	100	3,282	100	16.0	100	
中央農試	キタムラサキ 男 爵 薯	5.28	9.19	83	13.9	89	5,470	126	4,632	133	16.7	115	2000～2003
		5.25	8.19	38	12.9	78	4,358	100	3,481	100	14.5	100	
上川農試	キタムラサキ 男 爵 薯	5.24	9.18	75	14.2	83	5,174	112	4,233	115	15.9	117	2000～2002
		5.22	8.20	40	13.3	79	4,607	100	3,689	100	13.6	100	
十勝農試	キタムラサキ 男 爵 薯	5.29	9.23	101	9.6	118	4,809	124	4,501	139	15.8	109	2000～2002
		5.27	8.29	39	11.6	75	3,883	100	3,237	100	14.5	100	
北見農試	キタムラサキ 男 爵 薯	5.29	(10.5)	82	9.4	130	5,518	141	5,200	158	17.8	109	2000～2002
		5.27	9. 3	32	10.1	84	3,905	100	3,285	100	16.3	100	

注) 試験成績は標準施肥区，枯凋期欄内()：未枯凋を除く平均。

参照 1) 北海道農政部編，平成16年普及奨励ならびに指導参考事項，52～54(2004)。